

トレイルブレイザーズ・テンピースブラス The 11th !

4月28日(木) 19:00 杉並公会堂 大ホール

ブリティッシュ・スタイルから発想を得た編成でお馴染みのトレイルブレイザーズ・テンピースブラスの第11回コンサートが行なわれ、学生から年配まで、幅広い客層で会場が賑わった。

第1部では金管アンサンブルの王道である2曲を演奏。中でも『ニューヨークのロンドン子』はメンバーの星野氏の編曲で新しくなったテンピースブラス版のアレンジで初演され、オリジナルからさらに音色の変化に富んだ作品に生まれ変わり、他では聴くことのできない貴重な演奏となった。

第2部は本人たちと深い交流のあったゴフ・リチャーズ作曲の『トレイルブレイズ』でスタート。どの演奏も息の合ったアンサンブルで、12人とは思えないオーケストレーションに魅了された。

コンサート衣装のカラフルなベストはリーダーである黒沢氏の手作り。メンバー一人ひとりの人柄が溢れ出すような、見た目にも美しいコンサートとなった。

この編成での楽譜も発売されていて、公式HPからチェックが可能だ。



公式 HP はコチラから



写真: WAVE 鷹松 徹

前列左から: 依田泰幸 / 星野 究 / 佐藤秀徳 (ホルネット)、上條浩史 (フリューゲルホルン)、鈴木克博 (アルトホルン*)、山戸宏之 (バリトン)、黒沢ひろみ (Euph)、岩井英二 (Tub)、石井 弦 (B.Tb)、渡邊善行 (Tb)
後列左から: 服部 恵 / 東 佳樹 (Perc)
(*日本で言うアルトホルンは、本国イギリスではテナーホーンと呼ばれている)

Twilight Trombone Quartet

～ありそうでなかった! 笑って学べる音楽劇～ ♪ 西洋音楽物語Ⅱ ♪

5月14日(土) 14:00 かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

今年4月に4thアルバムを発売したTwilight Trombone Quartet (TWTQ) の記念コンサートが開催された。

4thアルバムのタイトルにもなっている『ネクステージ』で演奏会がスタートすると、客席は4人とは思えない重厚なサウンドに一気に釘付けとなった。

その後メンバー編曲の演奏が続く中、第1部最後の曲を飾ったのは、多くの吹奏楽作品を世に送り出し、その名を馳せている小長谷宗一氏作曲の『トロンボーンカルテットのための「夢のまた夢」』だ。当日は小長谷氏本人も来場し、TWTQと握手を交すなど、その場に居合わせた来場者にとってはとても贅沢な瞬間だった。

第2部では「笑わない瞬間がない!」ほどの、笑いが溢れた演劇を魅せてくれた。現代に生きる博士「ドク」と音楽の勉強をしている「今村青年」が、バッハやベートーヴェンが生きた時代にタイムトラベルし、音楽知識を学ぶという喜劇。TWTQメンバー一人



左から今村岳志 / 東川暁洋 / 廣田純一 (Tb)、佐藤敬一 (B.Tb)

りの実力が高いからこそできるハイクオリティなパフォーマンスだった。

今回、記念公演聴き逃した人には、公演で演奏された曲目も入っているCDをぜひオススメしたい。



[NEXTAGE] [opus55]